京城日報

敵輸送船團を反復撃破

ベララベラ島方面に揚る凱歌

敵機廿八を撃墜 艦船十二隻屠る

わが海鷲猛襲の戰果

【大本營發表】（十八年八月十七日午後三時三十分）帝國海軍航空部隊は八月十三日以來ガダルカナル島方面より西進せる敵輸送船團及護衛艦艇の行動に對し警戒中の所、十四日夜來ベララベラ島方面に進出の兆見えたるを以て十五日早朝よりこれに對し反復攻撃を實施し左の戰果を得たり

一、……大型輸送船一隻を撃沈、大中型輸送船一隻を炎上、戰闘機十三機を撃墜せり

二、……大型輸送船二隻、大型驅逐艦一隻、海上トラック一隻を撃沈……敵戰闘機十一機を撃墜せり

三、第三次攻撃隊は敵戰闘機と交戰しつゝ敵揚陸點附近を攻撃し巡洋艦一隻に至近彈一發、陸上二ケ所炎上、敵戰闘機四機を撃墜せり

四、第四次攻撃隊はシンボ島南方十浬及ビロア南東十五浬の海面において大型驅逐艦一隻を撃沈、驅逐艦一隻を撃破せり

五、敵の後續輸送船團の攻撃に向へる別動攻撃隊は……大型巡洋艦又は大型驅逐艦一隻を撃沈せる外、巡洋艦、驅逐艦各一隻にそれぞれ魚雷一本を命中せしめたり

六、右各攻撃における我方の損害自爆未歸還十七機

強襲また強襲

敵反攻の出鼻を挫く

……攻撃隊は十五日早朝……島南岸附近において……船團を攻撃、大型輸送船三隻……機十三機を撃墜した

これにつゞいて第二次攻撃隊も直ちに出動、敵戰闘機の熾烈な挑戰を排除しつゝ敵輸送船團上空に殺到猛攻撃を加へ大型輸送船二隻、上陸用舟艇一隻を撃沈、戰闘機十一機を撃墜し、大型輸送船一隻、大型驅逐艦一隻、海上トラック一隻に至近彈を見舞ひ上陸用舟艇十隻に對し大膽極まる銃撃を加へた、第三次攻撃隊も引續き敵戰闘機と攻戰しつゝ強引に揚陸中の敵に攻撃を敢行特に揚陸地點附近に爆撃を集中し巡洋艦一隻に至近彈を浴びせて損害を與へ陸上施設二ケ所に火災を生ぜしめ、挑戰し來れる戰闘機四機を撃墜した、第四次攻撃隊にシンボ島（ベララベラ島南方）南方十浬及びビロア（ベララベラ島南岸）南東十五浬の海域において上陸作戰掩護中の……

ベララベラ島とは

ベララベラ島はベラ灣を隔ててコロンバンガラ島北西方十四浬に位しベラ灣の西側をなしてゐる、島高約九百メートルにして樹木繁茂し、多數の錐齒状の山および峽谷あり、その若干は休火山で海岸線は屈曲に富み、多數の小灣を形成して餘地が多い、島内にはキリスト教布教所が多くその主要なものとしては南側のビロアと北側のトベがあり小さな貿易場もある

……機撃墜廿八機

撃破炎上 驅逐艦一隻、大中型輸送船三隻

至近彈 巡洋艦一隻、大型驅逐艦一隻、大型輸送船一隻、海上トラック一隻

魚雷命中 巡洋艦一隻、驅逐艦一隻

銃撃 上陸用舟艇十隻、飛行……

……の敵艦艇を、……驅逐艦一隻を撃破した、第五次攻撃隊は同日夜半出撃、敵別動隊後續輸送船團をガツカイ島東方十浬の海上に捕捉し、的確なる雷撃により大型巡洋艦一隻撃沈、大型輸送船一隻、驅逐艦又は大型驅逐艦一隻を撃沈した他巡洋艦、驅逐艦各一隻にそれぞれ魚雷一本を命中せしめた

斯くの如く五次に亘る海鷲の攻撃はいづれも強襲に次ぐ強襲で敵の作戰は多大の混亂を來したことは想像されるがこの間わが方もまた十七機の自爆及び未歸還機を出してゐる、戰果は大きい、然しわれわれの忘れてならないことはかかる大戰果をもつてしてもなほ同方面における敵を一掃することは出來ない、寧ろ戰局はニユージョージヤ島に次いでベララベラ島にも移りますます擴大しつゝある、南太平洋の戰局は空海陸一帶本格的決戰の段階にある、前線將兵の懸念に應へるにはただ量的にも敵に劣らぬ航空機を急速に送ること である

ベララベラ島綜合戰果

【東京電話】十七日大本營發表の如く帝國海軍航空部隊が十五日ベララベラ島方面に進出せんとした敵を撃摧した戰果を綜合すると左の如し

撃沈 大型巡洋艦一隻、大型驅逐艦一隻、輸送船大型四隻

荒鷲トロブリアンド諸島爆撃

【ブエノスアイレス十六日同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊が十五日ニユーギニヤ東北のトロブリアンド諸島に來襲し、キリウイン島にある反樞軸軍陣地を爆撃死傷者と損害を生ぜしめたと發表した

戰車二百旅團喪失

東部赤軍の攻勢不利

【ベルリン十六日同盟】D・N・B軍事記者マーチ・ハルレスレーベン氏は十六日東部戰線の戰況及びドイツ軍の戰果につき次の通り報じてゐる

赤軍の攻勢は目下主としてビエルゴロド南方からビヤジマに至る廣大な地域にわたつて展開されてゐるが、赤軍はさらにビエルイ近方地區でも新鋭兵力を前線に繰出してゐるから激戰地は實に六百キロにおよび現在平靜を保つてゐるのは僅かにイルメン湖周邊地區のみで戰闘は殆ど全戰線にわたり最高潮に達しつゝある

赤軍が使用してゐる尨大な兵員資材に比し赤軍の戰果は比較的小さい、ドイツ軍はこれ迄に赤軍戰車約二百旅團を掃蕩し砲兵陣地一千以上を破壞、乃至奪取しさらに飛行機六千を撃墜したが、かかる赤軍の大損害は次の數週間における赤軍の作戰に影響すること明白である、若し赤軍の損害が今後もこれまでのやうに莫大であるとすれば今次夏季戰は赤軍にとつて極めて危險とならう

佐藤大使モスコー到着

【モスコー十六日同盟】佐藤大使は守島公使、龜山參事官、武内書記官など館員約卅名と共に十六日午後六時クイビシエフからモスコーのカザン停車場に到着、大使館邸に入つた

隨所に敵を潰滅

平北地區の掃蕩戰

【滿鮮東部前線十六日同盟】平北地區における 皇軍の 敗殘敵匪剿滅追撃の手は愈々急となり隨所に捕捉殲滅戰が展開されつゝある

一、逃避戰術に汲々たる敗殘敵四十團（國長類匪帥）敵殲滅の鉾鋒を進めつゝあつた内角包圍陣を形成する〇〇部隊は十四日午後二時五十分頃四四七高地（西披東北廿七キロ）南方において敵の一部を捕捉約一時間に亘つて激戰を交へこれを潰走せしめた

一、南北兩方面より前進する〇〇〇〇兩部隊は我が外角包圍陣との水も漏らさぬ協力の下に隨所に剔抉掃蕩戰を續行しつゝ山頂に點在する敵軍事施設を片つ端から擊退し、現在でも敵兵舍十九を覆滅、地雷、被服など多數を鹵獲するの戰果を舉げた

綜合戰果は敵の

撃沈六百二十四隻、敵艦艇撃破四十四隻、飛行機は六月一日より八月十五日までにおける來襲機數六千三百八十三機に對し、その七百七十五機を撃墜、七十八機を撃破といふ莫大なものであつて、なほ敵の兵員に與へた損害は無慮二萬名以上を算するであらう、これを見ても如何に敵が犧牲を顧みずに反攻しつゝあるかは明瞭である、これに對し我方の損害は六月九日より八月十三日までに艦艇の沈沒損傷五隻、飛行機は六月一日より八月十五日までにおいては自爆および未歸還百七十二機である、以上の如く現在においてはニユージョージヤ島はもとよりソロモン群島の全域にわたつて激烈な消耗戰が展開されてゐる、かくの如き戰闘において最も重要なのは航空機の増強と補給の強化である、もし敵と同數の飛行機、艦船、武器、兵員を有するならば敵の反攻を擊退することは容易である、一億國民はこの前線において奮戰しつつある將兵の勞苦に報ゆるため、必死の生產を行はねばならない、敵の反攻はすでに開始された、この反攻を擊摧して究極の勝利を獲得するために一億國民戰闘に生產に火の玉となつて突進しなければならない

敵機の掃蕩戰

を實施した、その戰果は次の如くである

（一）ルンガ方面攻撃、大型輸送船三隻撃沈（二）レンドバ方面攻撃、敵機掃蕩、ムンダ上空において敵戰闘機六機撃墜

なほこの間七月廿日にはわが潛水艦がサンクリストバル島南方海域において敵サンフランシスコ型巡洋艦一隻を撃沈、八月六日夜には帝國海軍驅逐隊がコロンバンガラ島西方海面において敵水雷戰隊と交戰してその一隻を撃沈するなど海上戰もまた間斷なく行はれてゐるのである、以上がソロモン群島とくにニユージョージヤ島をめぐる八月十三日までの戰闘の概要である、この間における

彼我の損害五對一

我が質、敵の量を壓倒

田代中佐放送

田代中佐

【東京電話】大本營海軍報道部員田代中佐は十七日正午からAKのマイクを通じ『ニユージョージヤ島をめぐる戰況』と題し約廿分間にわたり大要左の通り放送した

ニユージョージヤ島をめぐる激戰について一ケ月半の戰況をまとめて述べたいと思ふ。去る六月廿日早朝巡洋艦、驅逐艦ならびに有力なる直衛機の掩護を配した十數隻の輸送船團、百數十隻の海上トラツク、上陸用舟艇よりなる敵有力部隊が突如レンドバ島方面に出現し、その一部は同島の北方より上陸するに至つた、逸早く敵の來襲を察知したわが帝國陸海軍部隊は強固なる協同のもとに時を移さず出撃して敵反攻部隊に大打撃を與へたのであるが、敵もまたガダルカナル、ルツセル兩島より多數の艦艇、輸送船、魚雷艇、上陸用舟艇を增援に繰出し、こゝにレンドバ島をめぐつて

海空の大激戰

が展開されるに至つた、即ち六月三十日一七月一日帝國海軍航空部隊のレンドバ島攻撃、乙巡一隻撃沈、同一隻撃破、大型驅逐艦四隻撃沈、驅逐艦一隻撃沈、同一隻撃破、輸送船三隻撃沈、同三隻撃破、飛行機七十七機以上撃墜、七月二日帝國海軍航空部隊のレンドバ島攻撃、輸送船一隻撃破、舟艇多數撃沈、飛行機九機撃墜、七月二日帝國陸軍戰闘機隊レンドバ港強襲、驅逐艦レンドバ港強襲、魚雷艇一隻撃沈、一隻撃破、七月三日帝國海軍戰闘機隊レンドバ島攻撃、敵戰闘機九機撃墜、七月四日帝國陸海軍航空部隊レンドバ港攻撃、輸送船五隻撃沈、船艇十數隻撃沈、飛行機廿三機以上撃墜、かくてこの五日間に帝國陸海軍航空部隊ならびに驅逐艦は敵の艦船

廿六隻を撃沈破

し、敵機百十八機以上を撃墜し、これに伴ふ敵兵員の損害もまた莫大である、しかるに敵米國はこの大損害にもかゝはらず執拗に補給を續け反攻意圖は全く挫折する氣配は見えなかつた、すなはち敵はレンドバ島上陸とほとんど同時にニユージョージヤ島北西岸バイロコ、ライス灣など數ケ所に上陸し來りこれを邀撃するわが陸海軍守備隊との間に激戰を展開するに至つた敵はさらにニユージョージヤ島における戰闘を增援せんがために五日巡洋艦、驅逐艦など多數の艦艇ならびに航空機の掩護を配して同島北西部クラ灣より增援部隊を揚陸せんとし、これを攻撃するわが水雷戰隊、海軍航空部隊との間に

終日激闘を展開

したのである、すなはち五日黎明陸海軍守備隊ならびに水雷戰隊のクラ灣敵艦艇攻撃、艦種不詳三隻撃沈、五日晝間帝國海軍航空部隊クラ灣攻撃、十機撃墜、五日夜間帝國水雷戰隊クラ灣攻撃、巡洋艦一隻撃沈、同一隻撃破炎上（クラ灣夜戰）かくして敵の增援計畫は大打撃をうけたのであるが、敵は如何なる犧牲を拂つてもニユージョージヤ島を奪取せんとするものか、更に七月七日同島南東岸から指呼の間にあるルビアナ島に進出し來つた、これを發見するやわが海軍航空隊の精銳は直ちにルビアナ島上空に殺到、これに猛攻を加へ敵が同島に橋頭堡を築いたばかりの陣地一帶に大火災を生ぜしめ數百名の人員の損害を與へ、さらに挑戰し來つた敵戰闘機數十機との間に

壯烈なる空中戰

を展開して左の戰果を舉げたのである、飛行機卅一機撃墜、爾來この方面の戰闘はニユージョージヤ島、ムンダをめぐる陸上戰闘、同島增援をめぐる海上戰、わが航空部隊によるレンドバ島の攻撃といふ複雜にして激烈なる形をとるに至つた今その經過を摘記すれば左の如くである

七月九日晝間帝國海軍航空部隊レンドバ港攻撃五機撃墜、上陸用舟艇六隻撃沈、七月十一日帝國海軍航空部隊ニユージョージヤ島西北岸に揚陸中の敵を攻撃二十四機撃墜、七月十六日帝國水雷戰隊はコロンバンガラ島北方海域において敵巡洋艦を攻撃巡洋艦二隻撃沈、一隻炎上（コロンバンガラ島沖夜戰）

以上の如く敵はレンドバ島上陸以來二週間近くを經たにもかかはらず同方面における戰闘の進捗がはかばかしくないために遂に七月十四日午前

ムンダ總攻撃に

出るに至つた、すなはち一隊は東方約廿キロのライ灣方面より、一隊は東方約六キロの相川右岸よりさらに主力は南方レンドバ島方面より一齊の攻撃を敢行しその兵力は二千以上にのぼつた、しかしながら士氣天を衝くわが守備部隊はこれに猛反擊を加へ、ルビアナ島より大擧ムンダ東側地區に上陸を企圖せる敵はこれを水際に激擊して、その舟艇廿隻以上を擊沈して殘餘を悉く敗走せしめこの上陸戰に呼應して相川右岸より我が

守備部隊の左翼

に對し攻撃し來つた約百名の敵兵をも擊退したのである、この方面の戰闘において敵は機械力と軍需品の壓倒的數量をもつてわれに挑戰してゐるのであるが、イーブニングスタンダード特派員はこの方面における戰闘の實相を次の如く傳へて米將兵の訓練と粘りの缺如から來る苦戰ぶりを語つてゐる

米軍は兵力、火器ならびに裝備が優秀であるにもかゝはらず過去廿時間内に少しも進出してゐない、日本の砲兵陣地や補給地に艦砲射撃や爆擊を加へても日本軍は依然米軍の前進を阻止してゐる、密林戰は日本軍の切札であつて日本軍の一陣地を奪取するにも米軍は大損害を覺悟しなければならない、米國は無數の飛行機、艦艇、機械裝備を前哨地點に集結してゐるが心理的には日本軍を壓倒することはできない云々

この戰闘に引續いて帝國海軍航空部隊は敵主要陣地ならびに補給路に對する

爆撃を強化した

その過程を列記すれば七月十五日ルビアナ島攻擊十九機擊墜、同十六日ベニコロ島、ツラギ、ガダルカナル島攻擊、同十八日ベニコロ島攻擊、同十九日カントン島、フナフチ島攻擊、同廿日フナフチ島攻擊これと共に、敵空軍もまたわが主要陣地爆擊に狂奔、ブーゲンビル島ブインには七月十七日に百六十七機、七月十八日には百三十機の多數の敵機が來襲し、七月廿五日、廿六日兩日には計百五機の敵機が同島に來襲し來つて、これらの部度多大の損害をうけて擊退され、かくしてムンダをめぐる戰闘は熾烈化の一途を辿りつゝ七月は暮れたのであつた、八月に入るやそのはじめに帝國海軍航空部隊は三回にわたつてレンドバ港に殺到し、この三回の攻擊によつて大型輸送船一隻、中型輸送船四隻、小型輸送船六隻、驅逐艦一隻、

多數の來襲敵機

はその機が同島に來襲し來つて、これらに……機がムンダ上空に現はれたが、これに對し敵機またわが方に對して來襲し來り、八月四日の如きは大型爆擊機について雲霞の如き戰闘機九機撃墜の大戰果を舉げた、上陸用舟艇一隻撃破、戰闘上陸用舟艇六隻以上撃沈、巡洋艦一隻、

果敢な突入を行つた

わが海軍の戰闘機隊によつてその廿五機を喪失して擊退された、次で同六日には帝國海軍航空部隊はレンドバ港を攻擊してさらに左の如き戰果を擧げた

中型輸送船二隻、小型輸送船二隻、上陸用舟艇八隻擊沈、中型輸送船一隻、海上トラツク一隻擊破、戰闘機五機以上擊墜、彼我の空の應酬はなほも續行せられ、八月十一日ブーゲンビル島には敵機五十五機が來襲し、海軍航空部隊はこれを邀擊してその卅四機を擊墜し、その翌十三

熾烈な消耗戰展開

增産で敵反攻擊碎せよ

空輸で補給 ニユージョージヤ島の米軍

【ブエノスアイレス十六日同盟】米國海軍省はニユージョージヤ島の作戰につき例によつて先走つた公報を發表し、米國民を糠喜びさせてゐるが、同島の米軍に對する補給は少くとも一部空輸によつてゐるやうで戰闘は決して米國政府筋の發表通り順調に進んでゐるのでないことは明かだ、ガダルカナル島における特派員は以上の實情を傳へ十六日次の通り述べてゐる

米國海兵團の空輸隊はニユージョージヤ島の僚軍に對し空輸で物資を補給してゐるが過去二日間に食糧彈藥ならびに醫藥約十一トンを同島の米軍に投下した

ニユージョージヤを繞る激闘

市外に兵力を移動

伊、ローマ非武裝の措置

【ローマ十六日同盟】イタリー政府は十四日ローマ非武裝化を宣言したが、右宣言は現在のところ一方的宣言に止まり米英兩國政府の同意を必要とすることはイタリー政府當局も等しく認めるところである、現在イタリー政府は右確認を得るため必要な諸措置を講じてゐる、以上の諸措置が如何なる内容を有するかは想知され難いがヘーグ國際法規第廿四條に列擧された諸物件をローマ市内から市外へ移すこととならう、すでにローマ市内から市外へ二兵力を移動し軍事關係各省の書類を搬出してゐる

社說 電力評價に公正たれ

一

八月一日新發足した朝鮮電業は目下買收すべき既設發電會社の資産評價に當つてゐるが、九月中にはその資産評價も終了して、半島の發送電統制は鴨綠江水電とこの朝鮮電業の二元的機構の下に完成する段取である。而してこの各社の資産評價如何換言すれば、各社の買收價格如何こそは朝鮮電業今後の興隆を決定する鍵であり、いはゞこれ如何によつて半島に電力統制が成功するか否かの岐路に立つものであることを痛感するが故に敢てこの點に關しわれらの老婆心の一つ二つを披瀝して置き度い。

二

第一に朝鮮電業に買收さるべき既設發電事業を見るに、まづわれらの目を惹くことはこれらの事業が過去において消費した資金と資材が極めて厖大なものに達するであらうといふことである。これを數字的に說明することはこの際差控へたいが、その結果として投下資本が必要以上に、若くは豫定以上に增嵩されてゐることは疑ひのないところである。これには種々の原因があらう。技術の拙劣、入手難による無理なる資材獲得、物價、勞銀の昂騰、諸經費の增嵩など數へ上れば、それらの一つ一つが何れもその有力な原因となつてゐる。しかしそれらは或る程度不可抗的なものに屬するし、又たとへ不可抗的なものでないにせよ、今日となつて、經營者のまた關係當局の責任を追求することは死兒の齡を數へるに等しき愚である。それはどうであらうと、それらの諸原因の集積が豫想外の投下資本の增加となつて結果されてゐることには問違ひないのである。

三

問題はその增嵩せる投下資本を如何なる査定の下に朝鮮電業が抱き込むかといふことである。之はなかなかの難問題である。問題を根本的に考へれば、朝鮮電業がそれらの膨脹せる資本をそのまゝ鵜呑みするか、また評價に當つて峻嚴なる斧鉞をこれに加へるかといふ二つに一つの方針しかないわけである。即ち既設事業をそのまゝ朝鮮電業が包攝するといふことは犧牲産業の救濟といふ意味で考へられぬことではない。けれども朝鮮電業自體にとつては物を必要以上に高く買ふといふことであつて、結局は水膨れの危險、即ち資本の重壓が事業の上にのしかかつて來ることになる。朝鮮電業は國家性の強き國策會社であつて、營利をあくまで追求出來ない會社であるが故に或る程度の犧牲は覺悟しなければならないが、實際問題として、營利の立場でなく、收支相償ふといふ程度に於いて、統制の目的たる豐富且つ低廉なる電力を供給するためには會社をして、あまり苛酷な條件の下に置くことは極更問題である。

四

即ち會社がかゝる條件下に電力を供給するためには電力料金の引上げや、損失の國家補償といふことを當然に要求することになる。しかし一方において、さういふ會社當然の要求を認めることが、果して統制の目的に副ふ所以であるかどうかといふ問題も發生する。さればといつて、問題を初めに戾して、買收會社の資産評價を峻嚴且つ公正なものに査定するといふことは理論としては正しいが、これに政治的な考慮を全然加へないといふことは一種の企業整備の意味からして斷行しかねるものがあるのもわれらは認める。かくて問題は豫想外に難しいものであることを愈々痛感せざるを得ない。この難問に關して、もとより當局並に評價關係者の公正妥當なる評價方針に拔け目があらうとは思はれない。われらはただ當局の勇斷と關係者の明察を待つのみであるが、たゞ半島の電力統制が百年の計であり、眞にこの根本に基いて評價されねばならぬ問題であることをここに指摘して擱くに止める。

半島交易機構改革
特殊統制會社を新設
東亞と貿振合併

内地交易營團の實現に伴ふ鮮内交易機構の改革については昨年末總督府當局において鋭意研究を進めつゝあつたが、このほど大體の成案を得たので近く實施する模樣である、右改革案を確徹するに朝鮮は内地の如き營團を設けず、第三國輸出入調整機關たる朝鮮貿易振興會社（資本金二百萬圓）と對圓域輸出入調整機關たる朝鮮東亞貿易會社（資本金五百萬圓）を合併して營團的性格の特殊會社朝鮮交易統制會社（假稱）を設立する模樣であるが、その法的措置は制令、又は府令によらず勅令をもつて施行することとならう

研究中である、從つて新機構が遠からず實現されるものと思はれる、朝興銀行の成立については内地金融界においても好感をもつて迎へられてゐる、殊にそれが迅速圓滑かつ簡潔に行はれたことが最も好感を持たれたやうだ、戰時下の整備なるものはどの部面においてもかうあつてほしい、しかしてこれが今後朝鮮金融界に貢獻するはもちろんで今日必要なことは言擧よりは一つの實行である

されビルマの金融部門はいよいよ確立を見ることゝなつた、本邦御が内面的指導に當ることは勿論である如南方開發金庫も十分協力することになつてゐる、わが半島とは關係が遠いやうに思ふかも知れぬが決して然らず間もなく種々の聯繫が生じて來ると思ふ、全國に魁けて朝鮮において行はれた割增金附定期預金の好成績は内地に少からざる示唆を與へたやうである、しかし内地金融界では多種に亘る預金の整理統合論さへ擡頭してゐる折であり直ちにこの制定を實行する處までに至つてゐないやうであるが、遊資回收について手を拱めずますます拍車をかけつゝある際とて新方法を極力

貯蓄增加に拍車
業域貯蓄組合の結成並に強化

本年度第一・四半期（四、五、六月）における貯蓄實績はさきに發表した通り二億二千七百萬圓で、有價證券投資を除く目標額九億五千萬圓の廿四％に達し、先づこれなら目標額達成可能といふ域に達したが、今後府當の必要は益々增大して來るので、總督府ではさきに貯蓄組合令の改正を行つてこれが擴充強化を行ふとともに、農林水產物賣渡金貯蓄率の引上（六月）を行ひ且つ先般の貯蓄獎勵委員會幹事會で職域貯蓄率の引上げを決定、現在手續中である

また本年產穀賣渡金貯蓄率も近く引上げ實施を行ふ筈であり、更に業域貯蓄組合における貯蓄率引上げをも實施する、而して

業域組合（商業關係）は自由勞働者と共に現下の貯蓄組合運動の最弱點をなしてゐるものであつて、これが普及徹底と、擴充強化は喫緊の問題となつてゐる、即ち現在業域における貯蓄方法は

（一）簡易保險加入による方法
（二）貸掛金に對する一定率の貯蓄を組合規約によつて行ふ方法
（三）組合員の格に應じて一定金額の貯蓄を行ふ方法

右三者を主としてゐるが、此部門には貯蓄組合未結成部分も大分殘されてをり、また組合長その他幹部の手腕を要する點も多々あるのであるが、本府としては極力これが指導獎勵を行ひ、業域貯蓄組合の結成並に強化に努めることになつた

遊資回收に新方法
君嶋鮮銀副總裁入城談

朝鮮銀行副總裁君嶋一郎氏は小柴秘書を伴ひ十六日『あかつき』で入城したが、最近の金融問題に關し次の如く語つた

大東亞共榮圈の建設工作の進展に伴ふ共榮圈の金融工作も豫定通り着々進みつゝある、最近ビルマには中央銀行を設立することなり、すでに準備委員も任命

自給力の飛躍增强
第二次食糧增產對策要綱成る

【東京電話】政府は國内食糧自給の現況にかんがみ決戰下國民食糧を確保して戰爭遂行に萬全を期するためさきに總合食糧對策を樹立、諸般その他米以外の雜穀増產施策を實施してゐるがさらに今秋出來秋以後の食糧自給力の飛躍的增强を期する趣旨をもつて十七日の定例閣議に左の如き第二次食糧增產對策要綱を附議、山崎農相病氣缺席のため石黒次官より詳細說明したる後これを正式決定同日午後四時情報局より發表された

第二次食糧增產對策要綱

國民食糧確保の絶對的要請に應じ食糧自給力の飛躍的增强を期するため國民總力のいよいよ昂揚せる增產氣運のもとに既定諸方策の徹底強化を圖るとともに左により增產對策を實施せんとす

一、土地改良事業の急速擴充

耕地の改良事業は食糧增產の確實なる基礎を造成するものにして水稻の增收は勿論裏作の擴張またこれによつて實現さらに國内食糧生產力增强の根幹としてもつとも緊要適切の施設なるをもつてこの際既定計畫にわたり急速に擴充實施せんとす、なほ急速完成し得る水田の造成にも努むるものとす

（一）暗渠排水、客土などの改良事業を暗渠排水客土事業約四十萬町、排水事業受益面積約六十萬町（約三分の一は暗渠排水事業に伴ふ）を目途として本年度内急速に着手實施すること

（二）本事業の實施には努めて地元農業團體の活動を促進し諸般の手續を簡易ならしめ迅速に事業の進捗を期し得る如く措置するとともになほ實情に應じ農道の整備をも實施すること

（三）本事業は國家的要請に應じ大規模且つ急速にこれを完成すべきものなるをもつて的確敏速に事業の遂行を期し得る如く特別なる助成措置をなすなど萬全の方途を講ずること、なほ事業の迅速なる進捗を圖るため必要に應じ法制的措置を講ずること

（四）農地開發事業の實施については既定計畫に檢討を加へ急速に效果を期し得るもののほかは一時これを中止するを原則とし農地開發營團の事業にも適當なる調整を加へその餘力を土地改良などに活用すること

（五）本事業の實施に必要なる土管その他資材の確保については特に劃期的な措置を講ずること

二、裏作の擴張改良

土地改良により裏作可能面積を擴張してこれに作付をなすは勿論苟くも裏作可能の耕地については地方の實情に即し麥、春馬鈴薯など食糧作物作付の徹底的遂行を圖るものとし水田利用についても格段の增産を講ぜんとす

三、土地利用の強化

食糧農產物の增産を目途としてあらゆる土地につきその利用を強化するため實情に應じ適切の措置を講ぜんとす

（一）農耕地の他用地に轉換はこの際極力これを抑制し工場などの建設については農耕地以外に敷地せしむるを原則とし空閑地その他農作に利用し得るあらゆる土地を動員して雜穀諸類など生產に活用するのほか立地條件に應じ飼料作物の栽培に努むること

（二）不急作付の作付を抑止すること

とともに農業上の立地條件その他を勘案し桑園果樹園などにつき食糧生產への轉換活用を促進するものとし必要なる助成などの措置を講ずること

四、糧種の劃期的增産
五、優良種苗の普及

優良種苗の育成普及に關する方策を強化するとともに種苗確保に必要なる措置を講じ種苗價格の適正を圖るものとす

六、農業勞務動員の強化

農業勞力確保は增産達成上の絶對要件なるをもつて農村勞力の多部門への轉換の抑制農業勞務への動員強化などにつき格段の方途を講ぜんとす

七、農業技術指導體制の刷新充實

技術改善を農家に滲透せしむる爲技術指導を強力に推進し得る如く適正なる措置を講ぜんとす

改良事業の擴充

增產豫算に約三億圓

【東京電話】食糧確保の萬全策として別項の如く第二次食糧增產對策が決定されたが、本計畫の中核的施策となつてゐる土地改良を徹底化するため政府は從來から交付して來た事業費に對する助成率を二割五分方引上げ、また勞力の調整、耕地價格などに至大の關係をもつ農道の整備についても今回新たに最低五割の助成策を講ずることとし斯くてこの助成金を含め本計畫實施に伴ふ豫算は總額三億圓前後となるものと見られ、これにはそれぞれ用途に從つて第二豫備金本年度追加豫算ならびに明年度一般豫算に計上支出されるはずになつてゐる

隔意なき懇談
地方行政協議會長會議

【東京電話】情報局發表（八月十七日）本月の地方行政協議會長會議は本日午後一時より内閣總理大臣官邸において東條内閣總理大臣各大臣及び内閣書記官長、法制局長官、情報局總裁列席のもとに開催せられ、まづ農林次官より本日の閣議において決定したる第二次食糧增產對策要綱について詳細說明を行ひついで各地方行政協議會長より各地方行政協議會の狀況を報告し各事項等に關し懇談を遂げ午後六時

研磨合金
整備要綱
商工省發表

【東京電話】商工省では八月十六日附をもつて研磨合金製造業企業整備要綱を商工次官より日本研磨合金工業聯合會宛示達し、同時に左のごとく發表した

研磨合金製造業企業整備要綱

一、研磨合金製造業の企業整備は本要綱の定むるところによりこれを行ふ

二、本要綱において研磨合金製造業とは錫、および鉛を主原料として白色研磨合金の地金を製造する業をいふ

三、操業、保有、および冶金工場の決定、操業工場は別に定むることとし、保有工場はこれを設けない

四、整備の方法……

時事小解
豫算の款項とは

十九年度總督府豫算の編成に當り款項整理を斷行するのではないかとの記事が本紙に載つたが、豫算の款項とはどんなものか、簡單に說明しよう、豫算は款項目節に分けられてゐる文部省歳出經常部を例にとつて見る

第一款　文部本省
第一項　俸給
第一目　勅任俸給
第一節　大臣
第二節　次官等々
第二目　奏任俸給等々
第二項　事務費
第二款　氣象台等々

議會では金額としては豫算全體について審議するのであるが、その内容については款項だけについて審議する、目節については審議決定しない款項を議決科目と言ひ目節を行政科目と呼んでゐる、款項は互に流用することが出來ないが、目節は流用することが出來る、即ち本省の費用（款）俸給（項）が餘つたからとて氣象台（款）や事務費（目）に廻したり、そこから持つて來たりすることは出來る、款項は流用を許さぬ、勅任俸給（目）を減らして奏任俸給（目）に流用してもいゝが、事務費（項）を減らして勅任俸給等をふやすことは許されないのである、序に豫算の種類を記して置かう、豫算には總豫算、特別豫算、追加豫算、純計豫算の四種類がある、總豫算とは國家の主要歳出入をまとめた一般會計の豫算を言ふ、總豫算と言つたからとて我國豫算の合計と言ふ意味ではない、特別會計豫算外のものである

東拓干拓事業
雄大な模範農村建設

東拓が初の試みとして着手した干拓事業は〝農業東拓〟の積極性を發揮するものとして注目される、即ち目下廿二ケ所一萬町歩の干拓を出願中でこれが完成すれば反當籾四石としても四十萬石の增收を豫想されるが、その經營については特殊の營農技術を要するもので本年度の新入社員から特別の養成をなすと共に干拓地に入植する農家の中心人物として東拓鍊成所の鍊成を終了した青年夫婦を入植せしめ住宅と耕地の分

荷造包裝協會
臨時總會開催

朝鮮荷造包裝協會では十七日午後一時半から京城商工會議所會議室に臨時總會を開催、十七年度事業報告並に決算（收入二萬七千八百餘圓、支出二萬七千五百餘圓、差引二百餘圓は次年度へ繰越し）十八年度豫算一部變更（荷造指導所收入九千八百圓減、事業費九千八百圓減、更正豫算收支五萬五千四百圓）の諸件を附議原案通り可決、任期滿了に伴ふ役員改選を行つた結果會長　總積與六郎、副會長　田村浩、同工藤三次郎、常務理事佐藤榮枝の諸氏以下各理事はいづれも再選重任となつた

日本の米（上）
篤農家大川さん
丸山義二

『米』ときくと、大川松雄といふ百姓の小父さんの顔が私の眼に浮かぶ、ことし五十二歳、がつしりと逞しい百姓である、この人は、伊勢の國松阪市郊外山室部落に住む大百姓で、家内勞力のみによつて、水田四町歩（内一毛作田三町歩、二毛作田一町歩）畑二町歩を耕作し、昭和十七年度の供出米は實に二百七十二俵であつたといふから、地主層はいざしらず、直接に汗水をながして作りあげた自作農家の供出量といふ點からみると全國的にみても、さうざらに數へ得る農家ではなからうと思ふ

私がこの大川家を訪ねていつたのは、伊勢路に爽涼のうつくしいこの四月下旬のことであつたが、山室山麓の一夜を大川さんと語りあかし、もつとも心をうたれたのは、この大川さんが稻と一身同體になつてゐる心境で

祕庫セレベスを語る
期待される製鹽
棉作熱も物凄く昂揚
【座談會】（下）

記者　セレベスと小スンダ列島を中心とする棉作熱は原住民間に物凄い勢で昂揚されてゐますが、たしかに戰前に邦人經營の農園がありましたか……

高橋司政官　最初大谷光瑞氏、次いで富地氏および小林氏が戰爭までやつておられ成績は相當良好でした、今回灘節地區全體として〇ケ年計畫で面積〇〇萬ヘクタール、〇〇萬ピクルを出す計畫ですが、初年度たる今年の植付は各地區とも良好で、原住民の勞力により一期及第二期の作付面積

山東氏　昨度五月十五日で植付が一應豫定面積に達しました昨年十一月私達が參りました時は當局の御努力により耕地調査のみならず種子さへ準備してあり、おかげで豫定面積の〇〇萬町歩が五割五分以上の增加となりました、小スンダ方面は昨年十二月から播種したため五月一日から既に收穫を開始しました、本年の雨季は順調で播種後の棉花の成育は良好です

記者　原住民の棉作熱について

山東氏　從來原住民が棉を作らなかつたのもその設備に深い關係があつたので、私共は本年足踏み式と機械ローラー式と双方を使用すべく目下計畫折衝中です

山東氏　首長や郡長は自分自身の仕事のやうに熱心に農民を指揮してゐる、本年度の成果の一半は首長や郡長の力に俟つところ多く、邦人棉作指導員も非常な活躍をしてゐます、昨年十一月には邦人指導員は〇〇名でしたが本年三月には二倍となり、若干の首脳者がマツカサルにゐるのみで大部分は擔當地區に一、二名づつ分散挺身して熱心に指導に當つてゐます、その下に全地域でこれに數十倍する原住民が働いてゐます

記者　椰子油、石鹸の材料としてまたこの原住民生活に密接な關係を有するコプラは現在どう

月火水木金金

海洋錬成參加記 ③

【須山特派員記】戰果に輝くわが無敵海軍の全貌を僅か一週間そこ〳〵の海洋訓練から摑み取らうといふのは餘りにもおこがましい海軍を知らなさ過ぎる話だが然し記者が教班長と起居を共にした一週間の生活記錄は七十年の傳統に輝く海軍生活の片鱗であり卅年間鍛へ抜いた猛訓練の一端である

寫眞＝帆走操練をする訓練員（村井特派員撮影）鎭海警備府司令部檢閱濟

鐵則『五分前の精神』
猛訓の後に和やか煙草盆會議

夏の夜は悄々

將兵の胸に頭々と湧き出る海軍魂の一切りである　しいほど短かつた五時を過ぎると空が白み廊下の足音が數を増し便所の戸がギイ〳〵いひつゞける、うつら〳〵すると號笛が鳴り響いて當直下士官の『總員起し五分前』の嚴然な聲が朝の空氣を裂き破る、五時四十分なのだ、海軍では『五分前』の精神を嚴格に訓練する、時間勵行といふことは海軍の一手販賣ではないが、海上生活者は一般に時間を嚴守する習慣がついてゐる、〇〇兵團はいつたい私は案姿の風に十年も吹かれて〇〇の豪勇者となりましたが娑婆の時間には終始呆れました

海軍では世間のことを娑婆といつてゐるやうだが娑婆に乗込むと殊に時間は八釜しく訓練する、毎日午前八時〇分〇秒には全艦隊が一齊に時間を合せることになつてゐる、何をやるにも海軍は『五分前』を實行し時間を勵行する、例へば『總員起し五分前』『課業始め五分前』『食事五分前』といふやうに何でも五分前に準備しておく、この食事五分前のときは『總員手洗へ』といふ奇抜な號令をかけて手の消毒をするといつた衞生振りである、『課業始め五分前』には課業に應じてその仕事の用具やいろ〳〵の準備をとゝのへて置く、そして時間になればすぐとりかゝれるやう常に最上級の能率を發揮するのは勿論のこと手落ちのないやうにしておくのだ

これはかの『出船の精神』にも一脈相通じてゐる即ち出船の精神とは何時何ん時艦艇が出航しても差支へのない準備と心構へをしておくこの精神である、艦艇が入港するときは必ず出港のときを考へて用意しておく、例へば浮標に繫留するときは必ず船首を港口の方に向けて置きいざ出航といふとき直ぐ出られるやうにしておく、錨を入れるときでも出航のときを考へて入れる、この五分か十分遅れることが飛んだ不覺の因となるのだ

私が入所した日の第一に敎へられたことは靴を脫いだら必ず外の方に向けておく出船の精神であつた

やがて總員起しの喇叭が胸のひや〳〵した大氣をひき破つて四方の山々に響き渡る、一齊に床を蹴りその場に整列して人員報告、六時半朝別科、總員は各班每に運動場に整列して宮城遙拜、五ケ條奉唱、海ゆかばを奉唱する、われ等の向ふ正面の連綿の山頂には日本海々戰の武勳を讃へる記念塔に早朝の太陽がさん〳〵とふり注ぎ、折り重なる綠の山に照り映える朝の陽を仰いで『大君の邊にこそ死なめ顧みはせじ』と雄叫する、この時ほど壯大な氣にうたれることはない

齊唱を終ること

七時まで海軍體操が廿數分間一刻一秒の休もなく連續で始まる、號令一下、二百の裸像が長い影を引いて轉轉自在に律動する、然し餘りに色白き貧弱な肉體だ、之に引換へ下士官兵の頑健な體軀は潮風に黑々と灼け隆々たる筋肉は惚らしまでに盛りあがり、それでゐて柔軟な骨格、この肉があつて始めて不撓不拔の精神も宿されるのだ

―◇―

七時十五分海軍體操でへと〳〵になつた腹に樂しい朝の食事がカツコメ、カツコメの食事喇叭と共に入る、この五分まへに『總員手洗へ』と奇拔な號令があるが徹底した海軍生活の端々に思はず微笑ましくなる、食事は決して贅澤ではなかつた、一汁一菜を原則としカロリーが與で調理される

八時から十一時卅分までの間に十五分の休みを入れて午前の課業が始まる、午後は十三時始業十五時十五分に終了して十五時卅分から夕別科が始まる、課業は一定してゐないが大體午前中は學科午後は術科で夕別科には結索、手旗、救急法を習つたが、どの一つにも帝國海軍の訓練精神が滲みでてゐた結索一綱の結方である、海軍では水兵となる素質を鍛へるうへから特に結索を重要視し新兵のときからみつちり敎へこんでゆく、海上生活では窮屈のもやいや釣床の緒など朝から晩まで利用され海軍々人としての大事な躾がこれによつて養はれる、結索の最も大切なことは一片の索の端も粗末に扱はぬこと、又同時もきちんと整備して索の端がばら〳〵になつてゐないこと、これを結ぶ方法は五十以上もあるが結んだら決して解けない、然し解かうとすれば直ちに解ける所謂出船の精神である

巡檢は陸軍の

點呼と同じで一日を反省する大切な日課の一つでもある、仰臥の兵の胸に甦らすやうな感傷的な巡檢喇叭がもの靜かにあとを引いて流れる

―◇―

十七時卅分夕食後入浴、廿時卅分『巡檢用意』で室內の整頓就寢用意をして廿一時の巡檢を待つのだ

巡檢が無事に終ると恐ろしく平民的な『煙草盆出せ、納凉を許す』と當直下士官の聲が油紙を引裂くやうにぱり〳〵響く、海軍では廿三時の消燈まで俗に『煙草盆會議』と呼んで訓練の汗を洗ひ流すひとゝきなのだ、敎班長を中心に皆が車座になり娑婆氣の無い話もなく罐打ちのない話に花が咲く

この時ばかりは〝何やさかい〟〝ぱつてん〟がうなつても〝あかん〟が頻振りしても一向差支へない爐のやうなときなのだ、夏の夜は刻一刻と更けてゆく、半敗の月が〇〇に落ちるころ兵も猶合も安らかな眠りにつく

ありません

天皇陛下萬歲
大日本帝國萬歲

血判に誓ふ無缺席
青年錬成所に咲く盡忠佳話

……も漁撈へ漁村の國民漁夫のらも總てを國家に捧げ奉……はしなくもこゝに全錬……て一ケ年間無缺席のもと……つて皇軍の一員への路を……のあることが十七日朝鮮……血判の宣誓書】

……のを犧牲にして我々が訓練する……が我々の任務だ」と申し合せ隊……同志の熱により去る十日〝我等……

我等廬海公立青年特別錬成所々生一同は世界無比の大日本帝國軍人たらんと今後如何なることあるも特別許可の外には一年間缺席なく錬成に出席すること護國の英靈に宣誓し左記の者血判にて宣約す

昭和十八年八月十日

所生總代表吳阿元植、副總代表高山瑯植、副總代表安田光烈、金本才元、李康成、國本容成、金城道踏、吉本承萬、山田億根、吉平一男、金岡茲來、申吉伊、金岡允緣、目原英成、成田壽燮、尹東祇、大原三聲、權東金得、雀德出、宮本康一、國本用得、權東明玉、城平明學、成田萬爵、

かくて皇民魂生る

前線へ蓖麻を送れ

一粒も無駄なく
供出に萬全を期せ

波田總長
國班へ
愛撫飛

……はならない、その全部を愛國班で取纏め各愛國班ではこれを町聯盟又は部落聯盟に引渡し町聯盟、部落聯盟は更にこれを上の聯盟に引渡すといふことにして結局は朝鮮製油工業株式會社の手によつて、憎むべき鬼米英擊滅のための潤滑油に精製されるのである、今や折角の蓖麻收穫期にあたり全愛國班員はよくよくこのことをわきまへて一粒でも多くを收穫して少しでも多くの潤滑油を太平洋や支那大陸の空に日夜決戰を續けてゐる我が荒鷲のために捧げようではないか

戰ふ內地に感激

こゝに愛國妓生あり
藝能慰問隊員の轉向美談

本社派遣

さきに本社では半島妓生からなる〝藝能慰問隊〟を組織、內地各地の陸海軍病院に白衣の勇士を心から慰問、豫想以上の好評を博してこのほど歸鮮したが、隊員のうち三和券番妓生鍾路區寬井町一〇七金剛石こと金城淑子（二）さんは內地慰問中、戰ふ內地婦人達の聖戰完遂に向つて逞しく働いてゐる聖なる姿に痛く心を打たれ、〝わたしもぢつとしてはをられない、眞面目な銃後の女性となつて御國のため一生懸命働きます〟と過去四年有半の紅燈生活をかなぐり捨て　十七日鍾路署に　出頭、〝けふからわたしも眞面目な生活を營みます〟と妓生廢業屆を提出する一方妓生廢業を記念して金百圓を本社へ皇軍慰問金として寄託、皇國女性の固き覺悟を　新たにした、金城さんは新しい生活の門出の喜びを次のやうに語る【寫眞＝金城さん】

『私はこのたび貴社の御計ひで內地の皇軍傷病兵の慰問を行ひました、私は戰ふ皇國の眞姿を見せていただきそして皇國婦女の態度を教へられ半島女性としてこのうへもない勉强をさせていただきました、喰ふか喰はれるかといはれるこの重大な時局に私達は何一つ御國のため役立つこともなく却つて非時局的な面で妓生なるが故に紅燈の下に笑ひながら暮さねばならないことを一人悲しみながら旅を續けたのでございます、無事に歸鮮致しまして自分の生活を考へなほし私共の半島から、より逞しい、より忠良な　陛下の兵隊を送り出すため妓生々活と別れて立派な家庭婦人に歸ることを決心し今日その手續をとりました、今後はこのたびの感激を肝に銘じて天晴れ半島出身兵士の姉としてまた母として恥しくない生活を營む覺悟でございます、誠にこれは些少ですが妓生廢業に際しまして昔からの因習で行はれてゐました廢業披露宴會を取止めた費用の一部でございます、私共の拙い半島演藝を限りなく御寵愛下さつた傷痍軍人のために御役立て願ひます

半島出身美術家の赤誠

東京在住の半島出身の新銳美術家五十四名からなる在東京美術協會は去る六日から總督府東京事務所で展覽會を開催、盛況のうちに十五日終了したが、その入場料の中から五十圓を建艦費の一部にと十六日國民總力聯盟文化部を通じ海軍武官府に獻納手續きをとつた

金村偶明、金本元甲、金川浩錫、山本鄕男、夏山永山、洪本自厅、平海龍麟、金本洪湖、常山龍春、平海清根、金本貞變、背田相守、在在不喜同、平海好君、西原瑲生、西原昌變、西原瑢

總力戰理論の究明に挺身
軍事保護學會の使命

【東京電話】今回全國官公私立大學の法、文、經濟部教授等百廿名によつて結成された『軍事保護學會』の組織と使命はわが國學者史上空前のもので今後の運用は各方面の注目の的となつてゐる、同學會設立の趣旨は決して狹義の學問的研究ではなく廣くあらゆる文化的角度から戰力增强を考究しやうとするもので、差し當つての研究對象は經濟學、歷史學、法律學の立場からする軍事援護である同學會はさらに心理學、文學等の見地からも軍事援護に資せんと計畫してゐるが、究極においては人文科學による總力戰理論の究明に挺身せんとするものである

〝全力を傾く〟
北村府尹榮轉談

【大田電話】今回の異動で大田府尹から羅津府尹に榮轉した北村留吉氏は昨年六月京畿道高等課長から着任以來二年二ケ月その間若き大田の發展に盡瘁せるところ多く殊に吳羽紡績工場その他重要工場の誘致等過去の商業都市から一躍生產都市としての性格を築き得たのは氏の努力に負ふところが大きい、以下氏の榮轉の辭

突然のことで少々面喰つてゐる發展途上にある大田を去ることは淋しいが稻垣さんの如き確りしてゐる人が來て頂くからには安心して去ることができる、私がこちらに來た當初は人口四萬七千に過ぎなかつた、皆樣の絶大なる協力によりやつと築き上げたことは心から感謝する、羅津には總督府時代に二回行つたことがある、北邊の護りが日增しに重大さを增してゐる時私如き非才がこの重責を全うし得るか心配である、兎に角行くやうになつたからには全智全能を傾してやる考へである

暑熱忘れ質問攻め
田中總監　東洋製糸工場へ

〝蛋白で纖維をつくるやうになりました〟〝ウーム、そんなら理論的には蛋白質で羊毛も造れるのだな〟と田中政務總監と東洋製糸伊東專務との一問一答が同工場應接間で交はされてゐる、激務の一瞬をさいて民需視察研究に熱意を傾けてゐる田中總監は十七日午前四時半鹽田農林局長、松坂祕書官、湯村纖系統制會長を帶同して東洋製糸鷺梁津工場に車を走らせた、同社伊東專務、伊藤工場長などに迎へられて應接室に入り伊東專務から同工場の現況と今回新設された沙里院工場の狀況を聽取したのち、工場に足を運んだ、事務の說明にうなづきながら蛹などの原料の化學處理工程、閉繭、繰糸、繭合、紡績工程を經て絹毛糸になるところまでを丹念に見、仔細に訊ね、戰ふ紡績業の現狀を偲び知らうとする熱心な總監だつた、暑さに負けず敢鬪する從業員を激勵して同五時半すぎ工場をあとにした【寫眞＝視察する田中政務總監】

南京基督教訪日視察團
きのふ滿洲へ

汪主席の下、新生の息吹きも逞しく、日本と同死共苦を誓ふ國民政府の南京の基督教青年會々員から成る支那學徒の訪日視察團一行十三名は二週間に亘る東京をはじめ內地各方面の戰ふ日本の實際を視察、歸國の途中、十六日〝あかつき〟で入城、引率者菊地一三氏、團長天明德氏らの一行は朝鮮神宮に參拜し、支那總領事館を訪問、午後六時から京城國際親和會の招待會に出席したが、十七日は午前八時半總督府を訪問、服部外務課長の案內で映畫室で朝鮮事情映畫を觀賞、それより京畿中學見學、軍司令官々邸を訪問、同日午後一路滿洲に向つた

特急話題

☆……公定價格五十錢の品物を四十錢で買つたら罪になるか――といふ質問に對し約四十人の受驗者中僅かに二人が罪にならない、と正解し殘りの廿八人は罪になると間違へた答をした

☆……これはこのほど某所に入所する半島青年に對し期京畿道經濟警察課長が質問した結果である、何んたる認識不足であることか驚くべき現象だ、公定價格より安く買つても良いのである罪にはならないのだ、出來得れば安く買收する方がよいのである、高く賣つたり、買つたりすれば賣つた者も買つたものも罪になるのだ、賣つた者のみが罪になると考へてゐるものがあるとすればそれも間違ひであることを知るべきである

◇……公定價格は物の値段が無茶苦茶に上ると銃後の經濟の秩序を亂すのでこれ以上價格を上げてはならぬといふ意味で定めたものであるから安くすることは幾ら安くしてもよいのだ、この位の常識は戰ふ國民の誰でもが知つておかないと、とんでもない間違ひを起すことになる、半島青年のみではなく每日の買物に出る婦人達も知つておくべし

本社寄託獻金
―十六日扱―

恤兵金

【陸軍】▲二百五十圓京城府三坂通一二三清水勝吉【海軍】▲二百五十圓京城府三坂通一二三清水勝吉

―十七日扱―

國防獻金

【海軍】▲五十圓京城府黑石町松通五土肥健藏

累計　國防獻金九十二萬七千二百七十六圓三十四錢、恤兵金二十五萬五千三百八十九圓三十六錢

總合計　百十八萬二千六百六十五圓七十錢

父三宅順均儀豫而病氣療養中の處藥石効無く昨十七日午前九時死去致候間故人生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕候
追而葬儀は八月十八日午後二時自宅にて相營申候
昭和十八年八月十七日
京城府安國町
嗣子 三宅

夕刊 京城日報

荒鷲フアブバ強襲

ニューギニヤの敵基地に鐵槌

三十九機を撃墜

地上に五機を爆碎炎上

大本營發表（八月十七日十一時）我航空部隊は八月十五、十六の兩日『ライエ』西方七十キロ『フアブバ』飛行場を攻擊し空中戰により敵機卅九機（内不確實七）を擊墜、對地攻擊により同五機を爆碎炎上せしめたり、我方四機未だ歸還せず

ワウの敵陣猛爆

【リスボン十六日同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は日本軍航空部隊が十五日ニューギニヤ島ワウモその他一個所の反樞軸軍陣地に對して連續三回爆擊を加へた旨十六日發表した

初奇襲に段違ひ戰果

東部ニューギニヤ

【東京電話】西南太平洋方面における彼我の決戰は連日凄愴苛烈を極めてゐるが、特に航空戰においては敵の質をもつてする反攻に對しわが人機一體となつてこれに果敢なる猛襲を加へ日々數倍の敵航空部隊に對し段違ひの戰果を擧げて敵の心膽を寒からしめてゐる、敵の執拗なる反攻に對し拔手も見せず敢鬪するわが航空部隊は八月十五、十六の兩日にわたり長驅してニューギニヤ島のフアブバ飛行場に對し初の奇襲を敢行、赫々の大戰果を擧げた旨十七日大本營から發表された

すなはち八月十五日八時廿五分わが戰爆連合の編隊はフアブバ飛行場を奇襲上空警戒中のベルP39カーチスP40計廿數機、輸送機十機などを捕捉攻擊し戰闘機十四機輸送機四機計十八機を確實に擊墜したほか、地上にあつた輸送機十機のうちその五機を爆碎炎上せしめた、同日の戰闘においてわが方も二機未歸還の貴い犠牲を出した

八月十六日も前日に引續きわが戰爆連合編隊は再び兩飛行場に進攻敵戰闘機五十機と交戰ロツキードP38十四機、ベルP39二機カーチスP40四機、グラマン一ア計廿一機を擊墜（内不確實七）した、同日わが方未歸還二機の犠牲を出した

この戰闘においてわが方は第一日においてはベルP39、カーチスP40の廿數機 [illegible] のうち十 [illegible] らに地上の輸送機 [illegible] め次いで第二日は [illegible] のうち廿一機を擊墜するといふ大戰果を擧げ敵に致命的大打擊を與へた、このわが航空部隊の輝かしき戰果に對してわれ〱は潮の如き感謝の意を捧げるとゝもに現戰局の運命を決定する航空決戰において吹かれても吹かれても翼を特んで押し寄せて來る敵の執拗なる挑戰に對して銃後の國民はさらに一段と戰力の増強に挺身して一機でも多くの飛行機を前線に送らねばならぬ、なほフアブバ飛行場はラエ西方七十キロカイナンツ東南方六十キロの地點にある敵の重要なる航空基地である

山なす波浪衝き出擊する北洋艦隊（鈴木特派員撮影 海軍省許可濟第一〇一號）

大破敵船ン港入港

【リスボン十六日同盟】[illegible] 大破したが、同港に [illegible] 者の死傷者多數が揚陸された

無煙炭焚燒を協議

第六回燃料自給懇談會

【釜山電話】鮮内における燃料の自給自足對策を協議する第六回懇談會は去る十六日午前九時から釜山地方鐵道局第一會議室において開催、鮮内に無煙炭を誇る無煙炭焚燒について協議を遂げ午後五時閉會した、なほ從來この懇談會は龍山において定例的に行はれてゐたものである、本府燃料課長、燃料選鑛研究所在課技師、清水城大教授、鐵道局關部技師、同需品課影山事務官等出席、地方側からは大和田釜山地方鐵道局長以下各地方局運輸部長、釜山管内機關區長等が出席し

戰時生活に頭の切換へ肝要

定例局長會議 田中總監、官民の心構へに銳鋒

總督府定例局長會議は十七日午前十時半より十一時廿分まで第三會議室に開催、各局長より別項の如く協議、報告があつたが最後に田中政務總監より官公吏の決戰體制下の心構へ確立につき大様左の如く發言し、戰時生活の徹底を強調した

官吏の決戰體制下の心構へを確立する必要がある、それは單に朝鮮に在つて昨日よりは今日の方が緊張してゐるといふ狭い見地からでなく、内地及び諸外國の決戰生活が如何に緊張してゐるかを省察して、此際朝鮮の官民は根本的に戰時生活に對する頭の切換へを行ふことである、生活態度に於いても物資を大切にし、職場に在つては事務能率の向上を計るやうに心懸けねばならない

水田財務局長 敵産處分の方法及び貯蓄率增加に關する協議

隆田農林局長 食糧緊急增產に關する協議を求め、本年の棉作はその後の管理宜しきを得相當の豐作を豫想される旨報告

大野學務局長 總督府指導者鍊成所に於て本府幹部を八月下旬より一週間鍊成を實施する旨報告

陸海軍と協議

第二回九地方協議會長會議

【東京電話】陸海軍當局では十七日の第二回地方行政協議會々長會議を機として同日午前九時より首相官邸に協議會々長および地方參事官との懇談會を開催、陸海軍側より富永陸軍、澤本海軍兩次官および陸軍の軍務、經理、整備、海軍の軍務、兵備各局長以下關係課長、安藤内相、唐澤次官および内務關係局課長、地方側より坂北海道以下九地方協議會長および各地方參事官出席、陸海軍當局より戰力增强を中心とする軍需關係事項に關し說明懇談を行ひ正午散會、官邸の東條首相以下各閣僚と午餐をともにし、引續き第二回協議會々長會議に入り懇談をつづけた

綿布一尺五十弗

支那大學教授 重慶窮狀暴露

【ストツクホルム十六日同盟】支那人一大學教授は最近のマンチエスター・ガーデイヤン紙上に長期戰に惱む重慶の窮狀を訴へ次の通り述べてゐる

重慶治下の國内市場は戰爭の長期化の結果として非常に不安な事態に當面してゐる、一九三九年中葉より物價は連續的に昂騰し未曾有の高水準に達してゐる若干の例を示せば米價は九十倍に昂騰し從前卅仙で購入出來た靴下一足が四十四弗の價格に達し一封度廿錢であつた豚肉が八弗するやうになつた、纖維類の價格も同樣に昂騰し從前一弗八仙であつた一尺の綿布が五十弗になつてゐる、この價格は決して安定してゐるわけではなくさらに日一日と昂騰を續けてゐるこの結果官吏などは生活不能狀態に立至つてゐる

ハルも訪ソか

【ストツクホルム十六日同盟】デーリ・ヘラルド紙の報道によれば、英國首相チヤーチルはハイドパークにおいて米國大統領ルーズベルトと三日間にわたりソ聯米英兩國との關係調整につき協議を遂げたが、その結果米國務長官ハル、英國外相イーデンがケベツク會談の終了を待つてモスコーに赴くことに決定したと傳へられる

ローマ市長を訪問、爆擊被害に對する見舞金五萬リラを贈呈した

赤機撃墜四萬三千六百機

獨、七月中に三千四百機の新記錄

【ベルリン十六日同盟】ドイツ軍當局筋の言明によれば、ドイツ軍は七月中東部戰線においてソビエート軍用機三千四百十六臺を擊墜したといはれ開戰以來一ケ月間の擊墜數としては新記錄といはれるが、一九四三年一月以降の擊墜合計は九千四百六十四機、開戰以來の合計は四萬三千六百四十二機である

獨機ポーツマス港を強襲

【ベルリン十六日同盟】獨軍當局は十六日次の通り發表した

獨空軍戰爆連合編隊は十五日夜英國軍港ポーツマスを襲擊、低空より港内軍事施設目標を爆擊同港の數ケ所に大火が發生するのが認められた

ハ市攻擊停頓

獨、新鋭を增援

【ストツクホルム十六日同盟】赤軍のカラーチエフ突入を契機としてブリヤンスク攻防戰は最高潮に達し、赤軍は目下ブリヤンスク北方のジーズドラからカラーチエフ西方地區を經てナヴイルイに至る半月形の包圍陣地によつて獨軍に猛攻擊を加へ、一部はブリヤンスク市を去る廿哩の地點に進出してゐるが、カラーチエフ北方からジヤングルの如き森林地帶であるため、赤軍は作戰上極めて困難な立場に置かれてゐるといはれる

他方ハリコフ攻防戰も今や全く白熱化し、クールスク方面から南下した赤軍大部隊は市街北方一哩以内の地點でドイツ軍守備隊と間斷なく白兵戰を展開してをり、ハリコフ東南のチユーグエフ方面に肉迫中の赤軍部隊は市街から四哩以内に迫つてゐるがドイツ軍は縱横新鋭部隊兵力を增援して防備を强化してをりまたハリコフから西方へ走るハリコフ、ポルタワ鐵道沿線でも目下激戰を展長してゐる

さらに赤軍はビヤジマ西方南のスパス・デミヤンスク地區でも攻擊を續行してゐるが、この方面の獨ソ兩軍は新鋭兵力を續々繰出してゐるため戰闘規模は次第に擴大してゐる、ベルリン情報は同方面の戰況につき赤軍はハリコフ攻略作戰が停頓したゝめ同方面に攻勢の重點を移して攻擊を强化してゐると報じてゐる

王宮に至近彈

又もミラノ盲爆

【ローマ十六日同盟】イタリー軍司令部は十六日の公報において反樞軸空軍が十五日夜またもミラノ市を爆擊、被害甚大と發表した、今回の空襲はかつてなき大規模かつ熾烈なもので、爆彈炸裂は耳を聾し、火焰は一千呎の高さに達し、市内を包む猛火は十六日に至るも鎭火しなかつた、無差別爆擊の結果、ミラノ王宮の直ぐ近くに敵彈が落下、構内にあるカリアテイド・ハルモンド彫刻像は甚大な被害を被り、ミラノ大伽藍の南側地區は完全な廢墟化した、之ら歷史的建物等のほか一般市民の被害も大きく、打續く反樞軸軍の盲爆に氣を奪はれ郊外その他の都市へ移住を餘儀なくさせられる市民の數は數百名にのぼる見込である

戰車集中攻擊成功

獨、作戰の妙圖に當る

【ベルリン十六日同盟】DNB軍事記者エルンスト・フォン・ハンメル大佐は東部戰線の戰況につき十六日次の通り報じてゐる

ビエルゴロド方面 ビエルゴロドの戰闘はすでに作戰開始以來六週間になるが獨軍は最近戰車の集中攻擊によつて作戰的成功を收めた、すなはち獨軍戰車部隊は戰車約百台、機械化步兵約數ケ聯隊より成る有力な赤軍部隊と數日間にわたつて激戰を交へたのちこれを包圍殲滅し目下掃蕩を續行してゐる、右戰闘において獨軍は現在までに大量の赤軍自動車を鹵獲したさらに獨軍はこの方面における十五日の戰闘において赤軍戰車五十七台を擊破した

オリヨール方面 オリヨール戰線の赤軍は十五日廣汎な地域にわたつて攻擊を再開したが、獨軍は大損害を與へて赤軍の攻擊をすべて擊退した

キーロフ、ビヤジマ、ビエルイ方面 キーロフ、ビヤジマ、ビエルイ方面の赤軍は過去數日間機械化部隊を含む新鋭兵を前線に繰出すとともに空軍力を增強してドイツ軍陣地に攻擊を加へてゐるが、赤軍としてはビエルゴロド地區の作戰計畫に失敗したので同方面の攻勢の主要目標を移し、獨軍陣地線を廣汎な地域にわたつて突破する企圖と解される、しかし獨軍は縱深度の大きい梯形防禦陣地線により優れた作戰指揮に基いて敵的に優勢な赤軍の攻擊に抵抗してゐる

前線報道によれば同方面における赤軍の損害は比類のないほど莫大である

その他の戰線 ラドガ湖南方地區において赤軍が猛烈な攻擊を加へ來つたが獨軍はこれを驅逐した

クバン橋頭堡の獨軍挺身隊はさきに赤軍が獨軍陣地内に打ち込んだ突破口を閉鎖しかつ頑强に攻擊し來る赤軍部隊に集中砲火を浴びせで大損害を與へたのち擊退した

ドネツ中流地區では獨軍砲兵部隊は數回にわたる赤軍の攻擊を砲擊によつて驅逐したのち赤軍部隊を粉碎した

獨軍の砲兵は十五日全戰線にわたり赤軍戰車百三臺を擊破したが赤軍は十五日の激闘で喪失した戰車數は少くとも二百十臺に達した

二百以上粉碎

自動貨車

獨機、低空強襲

【ベルリン十六日同盟】DNB空軍記者アルバート・フライターク少佐は東部戰線におけるドイツ空軍の活動狀況につき十六日次の如く報じた

ドイツ空軍爆擊機隊はハンガリー、ルーマニヤ兩國空軍爆擊機隊と協同、イジユーム近郊地區を出て進擊中の赤軍部隊および戰車集團に低空爆擊攻擊を加へ直擊彈により戰車八臺を擊破し且つ貨物積載中のトラツク二百臺以上、砲二門、燃料倉庫一棟に命中彈を浴びせ大型彈藥庫四棟を猛爆した

十五日の戰闘で赤軍が喪失した飛行機は四十五機に達しこれに對しドイツ軍は僅か二機を失つたに過ぎない

一擧六萬噸擊沈破

獨機、護送船團を強襲

【ベルリン十六日同盟】フフツケ・ウルフ二〇〇コンドール型爆擊機隊は十五日夕刻リスボン西方四百キロの大西洋上を南方に向つて航行する約五十隻の反樞軸護送船團を發見、同船團が對空巡洋艦一隻、驅逐艦三隻その他六隻の直衞を受けてゐるに拘らず猛烈果敢な攻擊を加へ、商船三隻合計二萬五千トンを擊沈、商船一隻計二萬一千トンを大破航行不能に陷らせ、商船二隻計一萬五千トンを著しく損傷させたうへ全機無事歸還した

反樞軸軍タオルミナに進出

【リスボン十六日同盟】アルジエー來電＝北阿反樞軸司令部十六日の發表によればシチリヤ島東部地區を北進中のモントゴメリー麾下英第八軍はカタニヤ北方のタオルミナに進出したといはれるが樞軸側ではこれを確認してゐない

英機伯林盲爆

【ストツクホルム十六日同盟】ロンドン來電＝イギリス空軍省はイギリス空軍モスキート型爆擊機編隊が十五日夜ベルリンを爆擊した旨十六日發表した

英、四百十九機喪失

【リスボン十六日同盟】ロンドン來電＝英國空軍省は七月中英國空軍が八十二回にわたり爆擊を決行四百十九機の爆擊機を喪失した旨發表した

瑞伊電話杜絶

【チユーリツヒ十六日同盟】スイス電報通信社の報道によれば、スイス、イタリー兩國間の電信電話連絡は十六日拂曉から何等の豫告なく突如遮斷されるに至つたといはれる

耐彈防空壕も破壞

獨霧煙放射機の威力

【ベルリン十六日同盟】DNB軍事記者マーチン・ハーレンスケベン氏は目下東部戰線で重要な役割を演じてゐる獨軍新兵器霧煙放射機について左の如く語つてゐる

この霧煙放射機の砲彈は六連裝の迫擊砲から發射され煙幕を張ると同時に榴彈または地雷として効力を發揮する、右霧煙放射機から發射される集中砲彈の爆發は特に効力著しく炸裂圈内にあるあらゆる生產は悉く被害を蒙る、そればかりでなく野戰陣地および耐彈性防空壕ですら右性能の爆發彈の威力によつて破壞される、然し最近までは霧煙放射機から發射される砲彈の彈道には條煙を生じて容易に認知されたが、その後改良を加へ無煙火藥を使用するやうになつてからは彈道に赤色の曳光が殘るだけで霧煙放射機の所在は解らない

米、貨物船を油槽船に改造

【ブエノスアイレス十五日同盟】ワシントン來電によればアメリカ政府は目下大量の油槽船の建造に努めてゐるが同時にリバーテイ型貨物船を改造して六萬五千ガロンの石油を積載し得る油槽船に仕立てゐるといはれる因みにアメリカでは過去七ケ月間に油槽船八十隻が進水した

米巡アラスカ進水

【ブエノスアイレス十五日同盟】ワシントン來電＝アメリカ海軍省は新造巡洋艦アラスカ號その他リバーテイ型船舶七隻が十四日進水した旨十五日發表した

羅馬盲爆へ日高大使見舞金

【ローマ十六日同盟】日高ローマ駐箚大使は十六日

泰宣傳局長等離京

【東京電話】日本の情報宣傳の實情視察のため來朝中の泰國宣傳局長パイロート・トイヤカム氏および同國新聞協會長プリチヤ・ゴサツト・パンヤラチユエン氏は滿一ケ月に亘る各方面の視察を終へたので十六日午後三時、天羽情報局總裁、柳澤在泰日本文化會々長を初め日泰兩國關係者多數の見送りを受け東京驛發歸國の途についた

消息

◇佐藤時彦氏（朝鮮産業理事）臨川江水電現地へ十六日出張

◇岩瀨米藏氏（鹿島組支店次長）平北淸水へ出張中十五日歸城

西南太平洋衞生戰

神林中將視察談

敵、マラリヤに苦惱

無比、我將兵の闘魂と軍陣醫學

【東京電話】西南太平洋に晝夜を分たず行はれてゐる戰は制空戰であり、補給戰であると共に衞生戰でもある、この方面の皇軍衞生狀況を具さに視察して此ほど歸還した陸軍省醫務局長神林浩軍醫中將は十六日記者團に對し左の要旨の視察談を行つた、特に談話中同方面ではマラリヤが殆ど唯一の疾病であるが恐しい條件下に拘らず細密細心な對策の結果着々減少の途を辿つてをり、又最近專門權威者多數の派遣によつて一層有利な狀態に向ひつゝある、敵はキニーネの缺乏からわれ以上にマラリヤに惱んでゐる上に皇軍には絕對に見られぬ戰爭精神病患者の多發に困つてゐる事實など注目された

神林中將

西南太平洋方面の氣候と衞生戰

この方面は内地で想像してゐるほどは暑くはない、日照り中は相當暑いが一旦日陰に入ると非常に涼しく、特に夜間に多いスコールの後は急に暑さが緩和して毛布二枚もないと寒い程で氣溫的には傲暑、秋、冬がある譯ではない

一番困るのは濕度の高いことでジヤングル内は全然日が照らず寸や蚊とり線香など忽ち用をなさなくなり一旦濡れたハンケチなどは三日も乾かぬと云ふ濕氣振りである

ニユーギニヤ某方面の如き高燥の地では濕氣も少く蚊も居らず將來日本人の住むのに最も適した土地であるが、これら適地以外の健康地でも敵の執拗な反攻のためこれを利用することが出來ず最高指揮官も地下足袋で歩く外、車は素より馬さへ通りにくい千古のジヤングルの中で不健康な生活をせねばならないしかもその中で宿營地の施設、防空設備、道路開鑿、飛行場設備などもせねばならぬ上に現地自活のため勞働もせねばならぬ斯樣な條件の中で猖獗を極めるマラリヤの防遏對策については將兵が最も重點を置いてこれに當つて居り、衞生成績も着々向上しつゝある、これがソロモン、ニユーギニヤ方面の作戰が制空戰、補給戰であると同時に衞生戰と稱せられる所以である

皇軍の衞生狀況

この方面は元來人口極めて稀薄なところで、從つて各種の疾病についても處女地でコレラ、チフスペストなど殆ど無い、こんな譯でジヤングル内の皇軍の生活では傳染病は非常に少い、滿洲、支那と同等或はそれ以下の發生狀況で結核性疾患など十分の一に減少した然しマラリヤ蚊は相當澤山居り特にジヤングル内に甚だしくマラリヤは全疾病中六割に及ぶ猖獗を極めてゐる、指揮官以下衞生に非常な注意を拂つてゐるので衞生成績は逐次向上しつゝある

マラリヤ防遏の工作

まづ第一に刺に刺されぬやうにすることである、そのためには現地でも蚊帳を用ひるが、これは濕度の高いジヤングルの中では容易に乾燥せず破損し易いことゝ大變しいスコールに會つて痛められ濕なため蚊帳の出入がはげしいので如何に注意しても一夜に十四から五十匹の蚊が這入つて仕舞ひ、なかく蚊に刺されないやうにすることは困難である、そこで第二の策としては蚊の撲滅である、ジヤングルの中では蚊とり線香やマツチも使へなくなるから椰子の葉などをいぶしたり防空壕も晝間の中から蚊を驅除してゐるが、これも敵機に發見されぬやうにしなければならない

第三の方法は蚊を發生させぬやうにすることである、マラリヤ蚊は渓流などの清水にゐるのもあり、濁水にもゐるのもある、また淸水と海水の相半ばした河口などにゐるのもあり、一樣でなく始末が惡い、だがこの各々の習性を逆用してその習性に適しない方法を講じてマラリヤ蚊を防ぐといふ對策、または河などでサイフオン式溜みを作り一定の高さに水が溜ると一度に押流されるといふ方法によるボーフラ退治などあらゆる方法が行はれてゐる、しかし蚊を全然發生させないといふことは不可能なことである

第四の策として豫防内服であるけれどもこれもあくまで發病豫防であつて完全豫防ではない、マラリヤの世界的特効藥キニーネの產地ジヤワはわが方の手にあり、バンドンのキニーネ工場をもつてゐる日本としてはこの點萬全なものであり、また特殊な合成豫防劑さへも作られてゐる、最後に第五の對策としては現在患つてゐるマラリヤ患者の徹底的治療である、この方面の斯界の權威者が作戰地に挺身、着々として對策はなり目的を遂げつゝある

これに對して敵の衞生狀況はどうかといふとマラリヤのため敵は非常に困つてゐる、とくにキニーネが日本に獨占されたゝめ悲鳴をあげてゐる、そのうへ戰爭精神病、戰爭神經症患者が續出してゐる、わが大和魂の發露である敢闘敢死の精神とは比ぶべくもない、不幸敵彈を受けたり病を得た入院患者については一々會つて來たが、内地還送を極度に嫌ひ敵殲滅の闘魂に燃え立つてゐる、銃後はこの一事をもつてしても第一線將兵の心を心としてさらに敵殲滅の決意を新たにしなければならぬ